


クラス	C101	担当教員	う え だ か ず ひ ろ 上田. 和宏
	テーマ	説明力の習得（データに基づいた考え方を身につける）	
	著書・論文 研究課題等	<p>最近、個人の時間使用データから生活時間の推計などを行っている。</p> <p>“Analysis of job satisfaction: The case of Japanese private companies,” <i>Labour</i>, 2016. (共著)</p> <p>“Multidimensional Inequality for Current Status of Japanese Private Companies’ Employees,” <i>Metron</i>, 2016. (共著)</p>	
ゼミナール概要			
キーワード：データ、統計学、表計算、説明力			
<p>目的、内容、方法等：</p> <p>ゼミではデータを使って考えたり説明したりすることができる力をつけることを目指す。</p> <p>私たちは日常生活で、「当社の製品は、××の成分が他社の製品に比べて〇パーセント多く入っている。」、「グラフから家族一人あたりの携帯電話やスマートフォンの利用料金が増えていることがわかる。」・・・など、数字やグラフ・表を使った説明にたびたび接する。</p> <p>変化を説明するとき、単に増えたとか減ったとかと言うより、どれくらい、また、どの程度、増えたとか減ったとか、具体的に数字で示すことによって説得力が増すだろう。他人に自分が伝えたいことをわかってもらうには、データやグラフなどで具体的に説明をすることが有効である。</p> <p>データを使って説明する力は社会に出て必ず必要になる。数字を扱うとなるとそれだけで敬遠する人もいるが、ハードルはそれほど高くない。食わず嫌いということもよくある。ゼミでは統計データを加工して必要な情報を取り出す方法やそれをわかりやすく示す方法などについて学ぶ。そして実際にいろいろな統計データを利用して説明する練習を行う。</p> <p>【2年生】</p> <p>統計データを扱うための統計学の基礎知識を学ぶ / EXCEL など表計算ソフトを使うことに慣れる 学んだ知識を経済や社会の問題に応用して、レポートを書いたりプレゼンを行ったりする</p> <p>統計学という数学というイメージを持っているかもしれないが、数学の力としては、足し算、引き算、掛け算、割り算を、電卓、パソコンなどを使ってできる程度でよい。平均やそのほかのデータの特徴を示す指標を計算することについて学ぶが、実際の計算はEXCELなどの表計算ソフトを使う。</p> <p>基礎的な内容には、数学を使わない内容もある。たとえば、統計データにもさまざまな種類があり、その種類によって整理の仕方やそれを表すのに適したグラフに違いが生じる。こうしたことについても学んで実際に使える力をつけるようにする。</p> <p>【3年生】</p> <p>自分たちで決めたテーマについて研究して（小）論文を書く。就職活動で、大学時代に何に打ち込んだかと問われたとき、勉強面では「これ」と言えるものをつくる。</p> <p>【4年生】</p> <p>大学での「学習の成果を形として残す」ため、卒業論文を作成する。</p> <p>教室の中での学習は、現実と結びついて初めて意味がある。したがって、ゼミ以外でフィールドワークなどに参加を希望する場合は積極的に参加してもらいたいと考えている。</p> <p>ゼミ合宿や工場見学、レクリエーションなどは希望があれば考える。こうした面でも意欲を発揮して欲しい。</p>			
使用テキスト		担当教員からのメッセージ	
高橋麻奈、『統計学』、技術出版社、2015年		<p>以下のいくつかに該当するような人と一緒に勉強したいと思っています。</p> <p>デパ地下の行列に並ぶ／食べることが好き／国内外を旅行したい／本に使うお金をもったいないと思わない／小説や漫画を読む／人前で話す自信をつけたい／勉強したい／意欲はある／体力はある／まじめ</p>	